

和蘭條約
上長崎鎮台書
ドンクル・キュルチュス

留字ヲ脱スル方

日本和蘭兩國往古より通 函國の如し

ゆゑに為 所國初に和蘭へ賜りし信牌は

趣を基し和蘭國を以て大金權於日本和蘭領

事官リットルデルオルデファンデン子ト

ルランツセンレーウの身分メーストール

ンヘンデリツキドンクルキユルシユス

日本大君に全權長崎奉行荒尾石見守川村

對馬守所目付永井岩に取極書

取極書

第一ヶ條

一和蘭國民は是迄免以場所に警固人無く出船
方出行の役可為勝手次第事

第二ヶ條

一和蘭人日本に旋を犯しけり、出船在箇高官の
者へ為知可有しはたに得て同人を以て和蘭政
府に其國法通戒可申事

第三ヶ條

一和蘭人日本人方不都合に取扱を更け時、就日
中和蘭領事官に其旨訴日本重役方吟味し上日
本國法通戒可申事

第四ヶ條

一若し日本港津地に國民の病に罹りしに成り、
和蘭國にも直し同様の免許可有し事

第五ヶ條

一國王軍船に大官或は其他条組の内或は和蘭陸
軍に向於日本死去被り、葬送に長生者に位
階に因り船中、其を空炮に教り墓所にありし
る小箇空祭り、其外、儀式を是迄に遵ふ
事

第六ヶ條

一長崎入港之和蘭商船海岸に近寄らば、是迄に
通國旗之印に合符に密旗を下揚奉但軍船と合
符に密旗所持不致事

第七條

一右西旗硫黄嶋遠見に若見清らば、目當とて
是迄に通國所旗竿に和蘭國旗をて下揚奉但軍
船も因極し事

第八條

一和蘭軍船商船共是迄に通國為鮮嶋裏に碇入ら
事

第九條

一長崎奉行其為に直板差を以番士官一同出嶋和
蘭商船に役人尾越其國に船無給養暇を以出
上之右船帆を揚或は並幕又は日本挽船を以致
入港以後是迄に通國に質人をも不致知ら事

第十條

一船に糸組に者共は及船相用外船に并出港に通
路可致且養生にた如港内糸組下りて高船に
水丈共致其及船に船頭按針波之内糸組に節
に限ら事

但し出嶋水門より外に勿論上陸被問敷且日本
船より乗組と出會ひ候不相成取為目下和蘭
の旗を建下りし

第十一條

一出嶋水門より外に及船を以上陸被問敷事

第十二條

一出嶋住居向土藏等是迄に安しに要改修復新觀
取建共奉行折上相届の上和蘭高銀照新浪を以
日本職人お雇材木買入候事

第十三條

一出嶋滞在し和蘭人其及船或は日本船を以港内
系廻り候差支候に上陸を不致港内より切あし
養生したれ釣等致候事

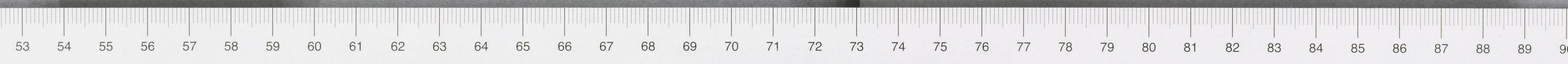
第十四條

一水門より獲し和蘭高及に者領り下中允免許候に
者不入込振取締り為開関に節に諸合日本役人
に相取候事

第十五條

一表門獲し勅番に日本人領り候事

第十六條



一 商賣船按針後以下船より者共是迄し通表門
出入身許探改の事

但水門奔船より改の事

第十七ヶ條

一出嶋方市中に持出或は市中より出港に指入る荷
物は是迄し通改有る蘭船出港往返し荷物と改
無し事

但密買の儀を嚴重に制爲す改の事

第十八ヶ條

一 和蘭商船長崎港内滞船中仕込る者日本番士友

是迄し通出嶋に出波可致事

第十九ヶ條

一 商賣方より新並に仕来り振合より有る和蘭荷物
藏し隠し不以出港滞在爲友に去領り日本封印
し不及る事

第二十ヶ條

一 日本旋り随ひ免許を請ふ日本人を都而も出港に
立入是迄し通し事

第二十一ヶ條

一 於長崎都而辭養應對を日本人と日本に作法和

一 蘭人之和蘭之作法に可致し事

第二十二條

一時画り奇出嶋滞し和蘭人々唐船并外國船より

託し書翰送し事

第二十三條

一 日本和親之外國船長崎港碇泊中共船主日

人書翰往復し事

第二十四條

一 和蘭船人別改行入津出帆之節両度致し出嶋

無し事

第二十五條

一 和蘭商船玉藥武器大砲同板本船差違し事

第二十六條

一 大君献上法役人方進上物并八朔に是迄し振合

し可致商館商賣筋に改革各に此後商賣筋に

日本方致し和蘭方に改革後度事有しに長

崎奉行和蘭領事及勘考に上相定可中事

第二十七條

一 若規定相立り事有しに節に長崎奉行和蘭領事

官に之お加可中且双方にたれ益に煩し了お

成席より成文廢可被事

右取極の二十七條兩國表承諾の書面を以て

此任の要國の高友調印に此取極書調印の日

付の二ヶ年以内長崎におかき取替へしむるに

七條を要取行の事

為證據和蘭國王の大金權於日本和蘭領事宿リッ

ドルデルオルデファンデントドルランワセン

レールウメトストルヤンヘンデリツキドンクル

キユルシユス日本大君の全權長崎奉行荒尾石

見守川村對馬守所目付永井岩之丞淺野一学於

長崎府此取極書を名判いたしゆを被曆數千八百五十六年第一月三十日

安政二年卯十二月廿三日

せんくゆきゆふのり

千八百五十六年の事

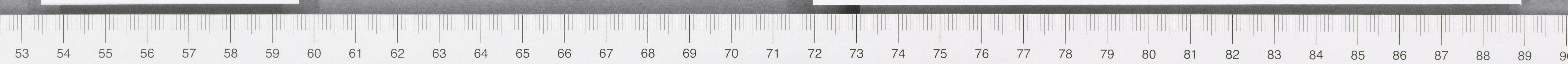
川村對馬守様
永井玄蕃殿様
因部駿河守様

領事官ハ
ドンクルキョルチユス

和蘭領事官肝要事柄左ノ中云

- 一 去年和蘭政府ハ書面差出シ付了成事ハ
日午政府系 諸候方ニ 所領金銀ノ命令
シテ 其所調進シ 品々日午ニ 送致ハ 概一定倍
ト云 右所領金銀ノ 額ハ 和蘭政府ノ 所領至
極懸念仕ル 如ク 申度
- 一 和蘭政府ノ 事々 時勢速ニ 可憂ト 察シ 日午

五十六年 和蘭領事官肝要事柄左ノ中云
 去年和蘭政府ハ書面差出シ付了成事ハ
 日午政府系 諸候方ニ 所領金銀ノ命令
 シテ 其所調進シ 品々日午ニ 送致ハ 概一定倍
 ト云 右所領金銀ノ 額ハ 和蘭政府ノ 所領至
 極懸念仕ル 如ク 申度



政府多時勢之隨心所仕法督所評定在成友
款而中上之條也

一 存身第一と日本國民と和親交易取結
希望有る外國民も都る緩優の交易所
免許し候也

一 緩優の交易と世界物自然の運旋と日本
の閉鎖今所把握也度は得るも最早續り留
成り即今至極急勢の場也

一 交易航海の國々を和親を旨と日本と右
極の緩優交易取結友存念の外實に他事

之し若し以後外に緩優交易し候拒嫌
也産の幸福に日本國究め航海法に諸國
一統有可及鬪戰復に候也中と和蘭政府
は能く惟多仕候也

一 當時和蘭國王の既前國王の遺言に隨心
す以來日本に候に暫時も怠惰不仕に
る日本國禍災の氣色有るに有不斷護衛
の志也産の然あり今變化するの時勢に
當り閉鎖有るも徹止を極くし産の
又一と和蘭政府神妙誠實に希望有るに留

外國政府に取扱是迄緩く、此後其後空發
所成極致に及志願く、此後右希重とす
政羅巴諸列に、此後を除和蘭必而已日本
往古より結固有に留和蘭政府におおるに不
断所恩恵を報ずの心とて日本國より交易航
海致し、國々一強國に有る度存念、此
後

一 和蘭國王と、氣分右希重通有るに及、心懸居在且
又前出より、遺跡を継其存念聊怠悞不仕
ハ、偏其義を重んじ、此後

一 日本政府に於て政事、此後後踏し、此後意

有るに存分、此後所定、此後、畢竟和蘭國
王に、此後、此後、此後、思慮仕、且、改
事、務、此後、後、此後、都、所
免、許、有、其、後、所、此、後、有、此、後、此、後、
若、此、後、此、後、此、後、此、後、此、後、此、後、
洞、達、中、此、後、外、此、後、政、府、此、後、見、合、有、此、後、日、知、此、後、
事、此、後、和、蘭、政、府、後、政、事、廉、直、を、失、し、只、利、益、損、
日、中、事、此、後、強、必、此、後、志、此、後、且、他、の、國、民、日、中、と、交、易、
此、後、取、結、此、後、を、嫌、忌、致、し、我、和、東、必、而、已、保、握、致、し、此、後

と相見ルル

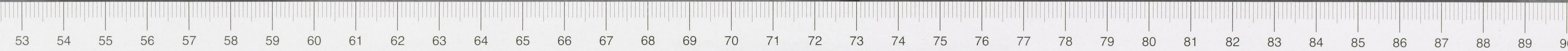
一 必係前國王之遺命之証心日本政府より存望し
 意味貫通止べき證據之余依りて及而希し
 此證心且又在證據今般至極急務の懇望
 此望其故を既日本の交易勅條約取極安
 旨多大額利を泥血女王の全權近長崎渡
 来仕へく候此証心
 一 和蘭政府に於て日本に爲兵器その他之品を所
 調進仕を高買因程之事を多し請ひ候希不
 可存尚所賢察下候此証心

一 外國民日本に渡来する所免許有歐羅巴同
 様し所由を成候程に尚然和蘭政府も
 勘考仕候所改革し所助力可候日本政
 府に所對し可候所不取海候事候此証心外
 國政府も志望一統に緩優之交易所免許
 候多し必其院を不事可有様見該此証心
 一 和蘭政府年來希望只和蘭由民に緩優
 交易し所免有候候此望且又出清商館
 候只臨時作法可候此証心
 一 猶又私多勘考仕候尚時打續日本政府所望

大造し、品物有るは、価格別上品、下品、目録し、品名
を以て、外、國民、外、相、和、蘭、方、より、多、分、速
に、安、價、に、可、有、り、也、

一 魯西亞國、
下田港、
和蘭、
同、
右、
多、
所、

- 一 右、
極、
依、
以、
中、
- 一 長、
和、
系、
皮、
岩、

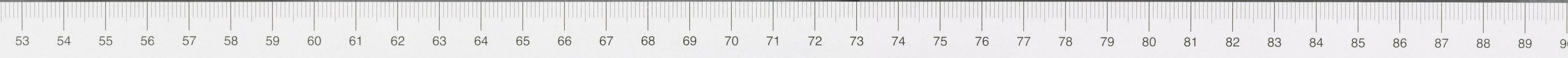


一 於日本に代り物売る難得の或多分の品物で
持渡さし所然念可有る所の得た私多勘考
仕ゆる緩優し交易開拓より代り物売る出
産し國々不可有し緩優交易し代りも只高買
之評委も成可然友のし高買其練磨し隨ひ代り
物を探し海に取出し難可也故亦多し高買代り
物不得益を往來收し其政府し所心方不
及び後少の事存也

一 右の外緩優し交易し於ては品物多しし持渡
又多分の積更可有し總令し和蘭高買を日本

のポートル或はコーヒー持渡す可也二品々未し
日本に價を以て得た魯西亞人その他外國民
所産する港に於てポートル、コーヒー等求むる
於日本も右品を許す所の物日毎價可有
し

- 一 日本高買を拒し品物を報利潤を得可し
- 一 日本滞りし外に高買も外國に品物勿論日本
品物に於ても高買を成す意は存し
- 一 以類し高買をドルフル又タラシトト唱す
日本政府右ドルフルの租税程度極成外



國政府に等しく其物出入に租税程能取上り
出来ぬ可き重税を有す

一 食糧第一品彼邦に持運せしめたる條約に
所規定所之に依り令に及ぶ其時節を限り
即停止す其外且文武器ある政府に外取扱
成有等所定可成

一 天主教勝手、修好後日本滞在外國民
為法他由人民に希聖信後を有す

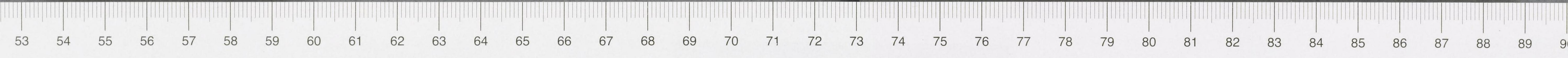
一 日本天主教修好後或る外人希後を有し
間接に在るに去今既日本外務政府より

和親に言ふに觸れ有し親を有す
本邦外國民等宗し物事、對し年来侮蔑讐
敵の徴有し事共を有す

一 和親心を古法に通長濟し其地、切り彼
踏画有し後を有す

一 日本政府に於て外國民に觸れ所親法若し取止
在成、然るに外國民必其悦ぶ事考ふ且又在
取止し後、外務政府に勿論其國を以て永日本
と和親交接し為所伊都合を以て勸考仕

一 天主教緩慢に後、條約中に在るに成可成若又



右教し事行所然念出さるる右教日奉人々勸込
し候へども所賜に所防方出来ず候事存候

一 和蘭日奉高政府下中上爰事存候事天皇教宣
日奉に所為危候事候に於差増右候所更令
上爰事存候

一 和蘭國と日奉との條約中、長崎下田箱館の
港に和蘭婦女小兒ホ在知候所免許し
し候事、和蘭政府、おのれに在候ハ右事候不
成事候事有し、爰に右條約中、和蘭
氏に而已、出産し候事婦人小兒も在候、お心辨り候事

有し、西墨利加親利左泥西魯西更も政府に於
て日和婦人小兒開港に地を在候候事、
お心辨り候事、既、西墨利加婦人在候に地を
在候に候所、免事候事、有し候事、疑惑仕候事
不及候事、事存候

一 當年日奉渡来和蘭商船二艘、船頭咬咄吧
政府に願出妻女連渡管し候事、此等之候に政府
員商中、在候事、未、所免事候事、心辨り候事
志、西度只和蘭領事官を以條約に規定分
明、為候事存候、
西産候

沙奉外 西洋免 等 上陸 不 成 旨 申 渡 了 取
成 可 御 申 渡 申 存 心

一 此 書 面 有 一 處 取 極 爲 所 屬 仕 箇 条 申 立
是 申 係 差 出 一 和 蘭 國 王 大 全 權 私 渡 日 本 大 君
一 全 權 一 判 仕 既 取 極 條 約 一 部 類 一 加 交 積
一 事 不 取 教 一 候 一 申 渡 一 成 一 旨 申 渡 一 希 心

和蘭條約、上長崎鎮台書 (ドンクル・キュルチュス) 箕作阮甫・麟祥関係文書77



